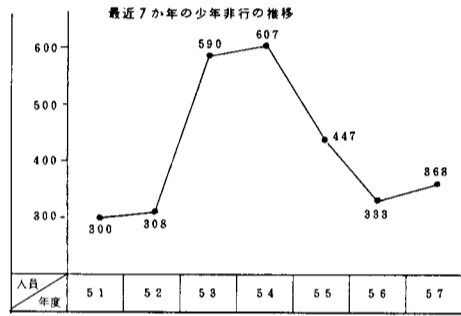


# 深刻化する少年非行

## 防止対策に「社会を明るくする運動」進める



少年非行は年々増加の一途をたどり、数的には戦後最高となるに至っています。また、内容的には、経済的にも問題のない一般家庭の少年や低年齢層の少年による非行が増加しているほか、万引きや自転車の乗り逃げ等の増大、家庭内、学校内暴力事件の多発、覚せい剤やシンナー等の薬物濫用事件の増加など、ますます複雑・多様化しており、今や少年非行は深刻な社会問題となつていきました。

昨年の少年非行の特征的に、十四歳未満の少年段と進んでいます。また、覚せい剤汚染は、上の犯罪少年が減少したのに対し、非行の低年齢化は、若年層を中心に急速な広がりを見せており、その汚染は中学生にまで及んでいます。

そして、校内暴力事件は、減少傾向にあるものの中学校における教師に対する暴力事件は依然として増加を続けています。

城東管内では、昨年、三百六十三人の非行少年を検挙補導しており、前年に比べ三十人(九%)の増加となつています。

その特徴的な傾向として、一、窃盗が、刑法犯の六六%、うちオートバイ盗、自転車盗、万引きなどの「初発型非行」が、六七%を占めます。

二、中学生の非行が全体の六三% (二百三十人)。

三、シンナー吸入が増加、五十六年に比べ三六%増となつています。

こうした状況に対処するためには、これまで以上に関係機関・団体はもとより、家庭、学校、職場、さらには地域住民一人一人が力を合わせ、少年の非行防止と非行に陥った少年の更生援助のための地域活動を積極かつ強力に推進する必要があります。

そこで、当区においても全国的な運動である、「防ごう非行、助けよう立直り」をモットーとする「社会を明るくする運動」に力を入れて行きますので、よろしくご協力ください。

# 城東区社会福祉

発行所  
社会福祉法人  
大阪市城東区社会福祉協議会  
発行人  
駒井信義  
編集  
福部会  
大阪府城東区中央3丁目4番29号  
城東区役所内  
電話 (932) 1351  
題字は駒井区社協会長

今日社会的に大きな問題となつて居ります。青少年非行化に関しては様々な要因が指摘されて居りますが、私自身は左記の様事項が重なり合つて生じた問題だと思ひます。その第一は青少年自身の意志の持ち方であり、第二に青少年が育つた家庭環境、第三に進学問題を含めた社会環境だと思ひます。本人の意志を第一に掲げたのは同じ様な社会環境の中で多くの青少年が素直に育つて居る現状を見るときやはり本人次第だと言えましよう。非行化を防ぐには円満な家庭と、青少年の進路に対する正しい評価と方向づけでしょう。

しかし、一般の認識として学校の成績のみが過大評価される現状が大きな障害があります。

## ボランテニア活動を学内のクラブに 過大評価される学歴

子供の進路は幅広い視野で  
城東区子供会連合協議会  
会長 吉川 孝

なれば発展を望まれません。各地区子供会発展のためよろしく願い申しあげます。ところで永年子供会に關係しなすることに、一般にまだまだ子供会活動を良く理解して頂けない面も多々あるようです。会員が積極的に活動する気持があるのに親の方が水をさすようなことを度々耳にいたします。子供会活動は地域の会員が低年齢より高年齢まで一つの目標に向つてお互いに協力し合い、それぞれ責任を果す、いわゆる縦の社会を形成して居り、会員相互の人間形成の上から有意義な会であり、我々育成者の希望として、青少年非行防止と子供会育成の両面から次のような事柄について一般ご家庭に

## 非行問題に強い関心を 健全育成活動を活発化

大阪府青少年指導員城東区連絡協議会  
会長 足立 勝重

青少年問題は、青少年自身だけの問題でなく、社会全体の問題としてとらえ、子供をもつ親一人ひとりが強い関心をもつと同時に、地域における各種団体が力を合わせて、非行防止に取り組むことが必要ではないでしょうか。

私達青少年指導員は、関係機関や関係団体と連携をはかりながら、地域における青少年を団体やグループ活動への参加を促し、有害

## 教育行政のご理解とご協力を 頂ければと思います。

現在子供会に於て中学高学年生の子供会離れが顕著です。小学六年まで熱心に活動していた会員でも中学校に入学すると同時に子供会を離れて行きます。中学校に入るクラブ活動への参加、高校進学へ向けての塾通いの問題があり当然かも知れません。しかし、そのどちらにも該当しない中学生も多く見受けられます。今、子供会では中学高学年生のリーダーとしての子供会参加を強く望んで居ります。しかし、これが仲々実現いたしません。

例えば中学高学年生が子供会活動に参加しているのを見て、「いつまでも子供と遊んでみてもいい」とか、「子供と遊ぶ時間があれば勉強をしたら」と世間では子供会活動に對し、ご理解が頂けないのが実情です。世間では中学高学年生に向けては、一に勉強、二にも勉強と大人の考えを押しつけて居りますが、如何なるのでしようか。人間皆個性を持って居ります。進路に

ついても色々なコースがあつても良いのではと思ひます。そこで一つの提案です。中学高学年生のリーダーとして、子供会活動への参加も含めて地域社会でのボランテニア活動を学校でのクラブ活動、又はその他の学内活動と同じような評価を頂けないかと言ふことです。色々難しい点も有りますが考えて欲しいことです。学校が、世間が、リーダーとしての活動参加に一定の評価を与えるなら、中学高学年生の意識も変わり、子供会活動は社会活動へも積極的に参加する姿が多くなるのでは無いでしょうか。青少年非行防止に關しても中学高学年生の余暇の利用にもなり、一つの解決策にもなると思ふので、如何でしようか。

当面、我々も子供会活動を通過して地域の諸団体の皆様と連携を密にして子供達の健全育成に向けてあらゆる努力をいたす所存です。皆様方のご指導とご鞭撻の程よろしくお願ひ申しあげます。

少年非行は今、戦後第三のピークといわれ、ここ数年急激に増えております。また、内容的にも、暴力的・薬物乱用が増加するなかで、低年齢化が一層進み、中学生が非行少年の中心となつて居る特徴が指摘されており、物の溢れる社会を背景とした享樂的風潮の増大が耐性の乏しい少年たちに深刻な影響を与えているとも云われております。

青少年問題は、青少年自身だけの問題でなく、社会全体の問題としてとらえ、子供をもつ親一人ひとりが強い関心をもつと同時に、地域における各種団体が力を合わせて、非行防止に取り組むことが必要ではないでしょうか。

私達青少年指導員は、関係機関や関係団体と連携をはかりながら、地域における青少年を団体やグループ活動への参加を促し、有害

いる社会福祉協議会の青少年指導員連絡協議会に積極的に参加するとともに、年間を通して行つて居る指導員活動を実施して居ります。

特に七月から九月までは、小・中学校PTAなどと合同巡視班を編成し、夏祭り、夜店、盆踊り等の青少年が夜おそくまで集まる場所とその周辺を重点的に巡回指導する校下での活動が重点となつて居ります。

また、昨年からは始められた区青少年健全育成連絡協議会主催の「青少年健全育成キャラバン」では、各校下において、保護司、地域振興会の協力を得て、地域住民に對して、「非行防止、健全育成」と印刷された啓発ティッシュペーパー、チラシを配つて、「非行の芽

みんなであつて明るい社会に」と呼びかける運動を実施して居ります。

さらに、地域の少年団体である「子ども会」の結成・協力・参加を積極的に進めると同時に、PTAなどと協力して家庭キャンプや親子運動会、そして家庭開放を利用したスポーツ活動などの健全育成活動を活発にする必要があると思ひます。

そこで、このような青少年指導員の活動が、今後一層円滑に行われるように、青少年福祉委員の方がたのご指導と各種団体のご援助をよろしくお願ひいたします。

### 東目関 非行防止の一助に 親子大運動会開催



子のふれあいを主眼としてプログラムしており、終始ほほえましく楽しいものでありました。

競技の圧巻は、連合町会が紅白に分かれての熱気こもる綱引きと、小学生による紅白対抗リレー。それには思わず応援にも力が入った素晴らしいものでありました。

これひとえに、準備していただいた役員並びに先生方のご協力により無事故で運営できたことを紙面をおかりしてお礼申し上げます。

少年の非行は、社会問題ともなる今日、当地域においてもこのことを憂慮しており、微力ではありますが非行防止の一助にと、また町会の「コミュニケーション」を計る意味にも連合町会の協力を得て、来年も開催したい希望でありますので地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

その他の行事は、昭和五十八年四月六日から昭和五十九年三月末日まで地域の

### 中浜 市社協事務局より説明を うける中浜社協役員



五月二十二日、関目東小

「中浜は、市社協モデル地区指定を受けるまでもなく、福祉活動を推進している」との声もありました。何事もこれよといふこととは言えないので、モデル地区の指定を受け、今一層社協役員力を合せ、地域福祉増進につとめることで、スタートしました。

さつき六月二十九日、市社協でのモデル地区連絡会に出席し、他区の活動等を参考に今後、大いに躍進することでしょう。

今福支部防犯委員会は、五月十一日から二十日まで、の春の交通安全運動期間中、歩行者の信号無視による交通事故防止に重点を置き、事故防止の呼びかけと指導に努めました。

五月十四日、老人会のみならず地域住民にも望ましい「今福老人憩の家」の落成式を挙げる事が出来ました。

この日は落成式を祝うかのように大変よい天気、



五月十一日、市社協モデル地区の指定を受け、さる六月八日、市・区社協事務局出席のもと、説明会が開催されました。

中浜社協は、昭和五十八年度より、市社協モデル地区の指定を受け、さる六月八日、市・区社協事務局出席のもと、説明会が開催されました。



東江火災ゼロ地区指定  
防火講習会開催

社協も、特に青少年の非行が低年齢化しているあり、校下あげて非行防止に結束して昨年来より夜間巡回や、小学校の校庭を開放してソフトボール、キックベースボール等、健全育成に取り組んでいます。

その他の活動としては、昭和五十七年五月十四日、憩の家では、婦人部の着物の着付、料理講習や、詩吟、民謡等、老人の憩の場として活用しています。

当校下は、四月より校下

地名の由来  
左専道(七)

この地は、延喜元年(九〇一)二月一日、道真が太宰府に左遷される途中、この地で休んだ時のものだといわれています。

そのため、この付近は「左遷道」と呼ばれたといわれています。

五月二十二日、関目東小  
学校で、関目東青少年育成  
部会主催の「おやこ大運動  
会」(大人三〇〇名、子供  
六〇〇名参加)を開催しま  
した。

当日、五月晴れの日さしをいっぱい受け多数の来賓諸氏の見守るなか、美濃部会長より「地域の皆様の親睦と各町会の和の向上及び青少年健全育成を目的とした大会である」とのあいさつのおとされました。

この運動会の特色は親と

並組織充実に  
社協活動活発化

〇・三・三二)に入りまし  
た。

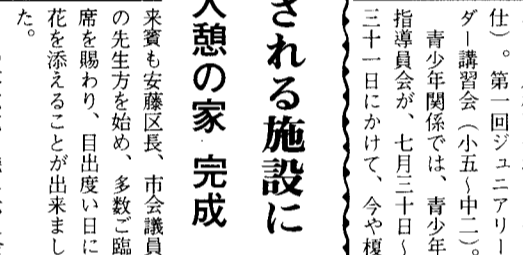
現在、会員(小一、中二)は五一〇名、世話人(幹事と委員)は一九名の大世帯です。

四月二十九日、第八回ノーム大作戦(古紙回収)、

福住民に愛される施設に  
老人憩の家完成

来賓も安藤区長、市議員の先生方を始め、多数ご臨席を賜わり、目出度い日に花を添えることが出来まし

この落成式を機に老人会グループによる見学会が実



東江火災ゼロ地区指定  
防火講習会開催

社協も、特に青少年の非行が低年齢化しているあり、校下あげて非行防止に結束して昨年来より夜間巡回や、小学校の校庭を開放してソフトボール、キックベースボール等、健全育成に取り組んでいます。

その他の活動としては、昭和五十七年五月十四日、憩の家では、婦人部の着物の着付、料理講習や、詩吟、民謡等、老人の憩の場として活用しています。

当校下は、四月より校下

東中浜  
新旧交替の憩の家  
集会所も同時完成

昭和四十六年二月発足しました青空老人センター憩の家(市電の廃車を利用)は、NHK、新聞社等の取材放送を受け、また、中国よりの人民代表六名が来訪され激励を受ける等、大阪はもろろん、遠くは北海道より見学が相つづき評判高いであります。

集会所も同時に完成し、今まで以上に校下の地域福祉向上に役立つこととす

心配ごと相談所  
ご利用を

ひろく、住民の日常生活上の悩みや、問題を解決するために開いております。どんなことでも心配なことがありましたら遠慮なく相談に来て下さい。

なお、相談は無料で、秘密を守ります。

○相談日 毎週、月・水・金曜日、午後一時～四時

○場 所 城東区役所一階 心配ごと相談室

○場 所 城東区役所一階 相談室

相談事項	件数
1 生計問題	2
2 家族関係	5
3 職業、生業問題	0
4 健康、医療問題	1
5 結婚相談	0
6 離婚相談	3
7 住宅問題	2
8 財産問題	2
9 精神衛生	0
10 心身障害者(児)福祉	0
11 児童福祉、母子保健	0
12 教育、青少年問題	1
13 母子福祉	1
14 老人福祉	1
15 人権相談	0
16 事故関係	0
17 事情相談	0
18 法律相談	42
19 その他	3
計	63

— 八月は —

# 硬貨募金運動月間!!

— 地域福祉向上のためにご協力を —